



第 49 号
発行所
関高等学校同窓会
岐阜県関市桜ヶ丘 2-1-1
郵便番号 501-3903
電話 (0575) 22 - 5688
FAX (0575) 23 - 7089

校訓
進取 至誠 錬磨

関高百周年 記念事業に向けて



同窓会長
堀部 哲夫

100周年を迎えます。一世紀にわたり積み重ねた伝統の重みは言葉では言い尽くせないものがあります。

関高校では現在、同窓会を中心に関高PTA、職員が一体となり100周年記念事業に向けて動き始めております。この記念事業は、卒業生、在校生、学校関係者、地域の支援者様を含めたすべての人達にとっての一大イベントにしたと考えています。

記念事業のタイムスケジュールとして本年は準備委員会を立ち上

げ、広く関係者の皆様の意見を拝聴し、よりよい方向性を探つてまいります。来年度には実行委員会を立ち上げ、皆様から頂いたご意見を参考に本格的な準備に入っていきます。

私見ではありますが記念事業のイベントには全国各地でご活躍の卒業生の皆様が関市に集い、懐かしい市内を散策し、学校を訪問してイベントに参加できるように企画を考えております。

具体的にはこの年の1カ月の期間を限定し、全卒業生を対象に式

典や祝賀会を開催、同時期に合わせ市内において市民講演会を主催、卒業生の美術作品「関高OB展」の発表、吹奏楽部の演奏、演劇部による公演の開催が考えられます。そして、市内の商店街の店主の皆様にも参加頂ける良い企画を期待しております。

開催の時期につきましては実行委員会のご意見が尊重されますが、6月、9月、10月開催の意見が浮上しております。6月は学校行事が少なく在校生の参加が容易であること、9月は関高祭と体育祭の同時開催が可能です。また10月は市内で「刃物祭り」が開催され、遠方の卒業生が帰郷しやすい時期かとも思われます。いずれにしてもメリット、デメリットはありますが貴重なご意見を待つところです。

本年度、平成26年度から3年間継続したSGH(スーパーグローバルハイスクール)の指定が3年間延長されました。大学で実施する探究型の課題研究を、1年生は地域の国際化や国際貢献の視点で、2年生は国際的な課題から実施をしています。英国の姉妹校へイドン校やベトナムの高校との交流も礼文島で実施する国際学術調査も継続していきます。研究者や実業家、地域の名士による講演会、大学の研究室や企業の研究所を訪問する等、この活動では、県下の

に集うことが記念事業成功に繋がると考えております。卒業生の皆様、クラス会や学年同窓会、部活のOB会開催の予定がありましたらこの記念事業に合わせさせて頂きたいと思っております。

その他、図書館の整備、関高在学生の短期留学を支援する奨学金制度基金が候補に上がっております。どの企画も卒業生の皆様の絶大なご協力が必要です。来年度、実行委員会が開催されれば経過を皆様にお伝えし、また貴重なご意見を拝聴する機会が増えると思えます。

いつまでも皆様の心に残る記念事業になることを祈って止みません。

少子化の中での 関高校の姿



学校長
三尾 寛次

少子化と高齢化の進むことへの危惧が現実化し、高校教育においてもその影響は大きく、伝統校である関高校においても無縁のもの

ではないようです。中学校卒業予定数は、10年後岐阜県全体で約3,000人減少し、関市、美濃市、郡上市が含まれる美濃学区では250人の減少が見込まれています。関高校の1学年の入学定員は280人ですので、その規模の大きさは分かっていただけだと思います。

こうした中、県教育委員会はそれぞれの地域で魅力ある学校づくりを進めるため、県立高等学校活性化の基本方針「ブランドデザイン」を示しました。関高等学校は、

「選抜性の高い大学への進学が多い高校」という位置づけをされ、「グローバルリーダーの育成」「探究的な学習の推進」「個別の高度な学習ニーズへの対応」「キャリア教育の充実」といった教育を積極的に推進し、地域から求められる人材の育成を図ることとなっています。つまり、本校には大学入試への対応をひたすら進めるのではなく、大学入学後、卒業後を見越した社会のリーダーとして活躍する資質、能力の素地を高める教育が求められたところです。

本年度、平成26年度から3年間継続したSGH(スーパーグローバルハイスクール)の指定が3年間延長されました。大学で実施する探究型の課題研究を、1年生は地域の国際化や国際貢献の視点で、2年生は国際的な課題から実施をしています。英国の姉妹校へイドン校やベトナムの高校との交流も礼文島で実施する国際学術調査も継続していきます。研究者や実業家、地域の名士による講演会、大学の研究室や企業の研究所を訪問する等、この活動では、県下の

高校の先頭をしっかりと歩みを進めています。その一方で、100年近い伝統が育んだ校風はしつかり次の世代に引き継げるよう教育活動を進めています。少子化の中で高校の在り方を考えていくとき、時代に求められる教育と守るべき教育のバランスをとっていくのが、関高等学校の教育の姿と考えております。同窓生の皆さまもぜひ、母校関高等学校の発展に期待と支援をお願いいたします。

世代を超えた芸術の絆

第11回 関高OB 美術展

関高校(武儀高女)卒業生の交流と親睦、芸術の普及等を目的とした美術展を開催します。

【出品希望者は下記事務局へ問い合わせ下さい】

関高OBの芸術を古民家で展示

(第10回展は出品者50名、
来場者500名で大盛況でした。)

日時：平成29年9月24日(日)～10月1日(日)
午前10時～午後5時 最終日は午後4時まで

開催場所：古民家 山麓 (関市本町7-13)

部門：絵画、書、写真、陶芸、デザイン、刀剣、能面、ステンドグラス

主催：関高校OB美術展実行委員会

後援：岐阜県立関高校同窓会

お問合せ先：電話 0575-22-5156 森 正俊(20回生)

卒業生の合格状況

卒業年度	28	27	26	25	24
卒業者数	280	273	280	276	281
国公立大学	156	119	151	117	143
私立大学	671	640	756	602	737
東京大学	1	1	0	1	2
京都大学	1	0	3	3	7
名古屋大学	10	6	19	9	18
大阪大学	3	1	2	2	2
岐阜大学	33	16	25	19	24
早稲田大学	5	3	10	8	15
慶應義塾大学	1	3	4	4	8
南山大学	39	36	62	51	38
名城大学	59	51	88	75	63
立命館大学	59	39	51	49	56
同志社大学	25	19	29	17	45

※合格者の多い大学のみ掲載しました。

昨年度入試を振り返って

全体の約5割近くが国公立四大へ、難関私立四大にも多く進学しています。国公立大二次試験や私大入試に向かって最後まで粘る姿が印象的でした。大学進学後のさらなる飛躍に期待します。

第69回生(平成29年3月卒業) 同窓会クラス幹事

- | | |
|-----|-------|
| 1組 | 小川修平 |
| 2組 | 古川由佳子 |
| 3組 | 澤田総一郎 |
| 4組 | 神木亜紀 |
| 5組 | 北川智基 |
| 6組 | 中尾ありさ |
| 7組 | 廣山敦紀 |
| 8組 | 齊藤美名 |
| 9組 | 酒野哲平 |
| 10組 | 末松律人 |
| 11組 | 中村友香 |
| 12組 | 古川雅大 |
| 13組 | 可児磨理奈 |

平成29年度同窓職員異動

- 【転入】
- 教諭(理) 池村 和浩(高31回)
 教諭(国) 上野志津子(高39回)
 事務主査 伊藤 美保(高42回)
 事務(事務長補佐) 野口みさ子(高44回)
- 【転出】
- 事務(事務長補佐) 森 里志(高31回)
 助手(理科) 石原 貴子(高42回)
 教諭(国語) 坂本かな子(高49回)

岐阜支部 総会開催のご案内

岐阜支部第八回総会及び懇親会を左記のとおり開催します。
母校の情報やご指導頂いた先生方との懇談、お楽しみ会?同期生を誘ってご参加ください。
また、卒業年次にかかわらず、また他支部からのご参加も歓迎します。

記

・日時

平成二十九年九月二十四日(日)
午前十一時より

(受付 午前十時三十分から)

・場所

岐阜市長良川畔
岐阜ランドホテル

〇五八(二三三)一一一

・会費(懇親会費) 八千円

「申込・問い合わせ先」

岐阜支部長 第十七回生 藪下 浩
〇五八(二四二)一四三五



編集後記

▼郵送料値上げのため、一昨年度より紙面での発行を隔年とすることになりました。本年度は関高校HPでの発行です。ご了承ください。また、会費の納入にご協力ください。

▼転居・市町村合併等による町名や地番の変更により、会員の皆様へのご連絡や「桜ヶ丘だより」のご送付に支障が生じております。また、個人情報保護が叫ばれる昨今の状況も考慮いたしますと会員名簿の作成・発行は非常に困難になっております。つきましては、各学年の幹事の皆様やご本人からの情報を事務局までお知らせいただけると幸いです。何卒よろしくお願いたします。

▼学年同窓会開催の折には、事務局までお知らせください。補助金を支給しております。

▼会報掲載用の原稿を募集しております。同窓会員の皆様のご活躍の様子や、同窓会での交歓のひととき等の記事をお写真とともに寄ってください。(お写真はお返しします。)